

C L T活用促進に関する関係省庁連絡会議（第1回）
議事要旨

日 時： 平成28年6月3日（金）16:45～17:00

場 所： 官邸3階南会議室

出席者： 世耕 弘成 内閣官房副長官
和泉 洋人 内閣総理大臣補佐官
藤井 健志 内閣官房内閣審議官
高原 剛 内閣官房東京オリンピック競技大会・東京オリンピック競技大会推進本部事務局企画・推進統括官
村田 隆 警察庁長官官房総括審議官
安田 充 総務省自治財政局長
名執 雅子 法務省大臣官房施設課長
山下 治 文部科学省大臣官房文教施設企画部長
杉野 剛 文部科学省高等教育局私学部長
吉本 明子 厚生労働省大臣官房審議官（雇用均等・児童家庭、少子化対策担当）
濱谷 浩樹 厚生労働省老健局大臣官房審議官
梅田 珠実 厚生労働省大臣官房審議官（医政、精神保健医療、災害対策担当）
沖 修司 林野庁次長
川元 茂 国土交通省大臣官房官庁営繕部長
由木 文彦 国土交通省住宅局長

1. 開会

冒頭、世耕副長官から以下の発言があった。

- ・ 安倍内閣の重要課題である地方創生に向けて、様々な具体的アクションを進めていく必要がある。
- ・ 我が国の国土の約7割を森林が占めていることを踏まえれば、森林を如何に持続的に活用し、雇用を生み出し、地域を力強く育て、地方創生を実現していくのか、その知恵と行動が求められると認識している。
- ・ その知恵の一つとして、「C L T（Cross-Laminated-Timber：直交集成板）」が注目されている。
- ・ C L Tは、長大なパネルで、それ自体が柱であり、かつ梁であることから、建物としての強度の確保が可能で、設計や施工がしやすい。また、地震に強く、耐震補強材としても利用が可能といったメリットがある。
- ・ C L Tについては、40の道県・市町村が加盟する「C L Tで地方創生を実現する首長連合」や、100名を超える自民党議員が参画する「C L Tで地方創生を実現する議員連盟」が設立されるといった新たな動きがみられる。こうした動きを踏まえながら、政府としてもしっかり対応していきたい。

- ・ CLTは、これまでも集合住宅や大学関係施設、特別養護老人ホームなどで使用され、今年に入って建築基準法上の告示も定められるなど、活用が進んでいる。本日出席している各分野の関連施設で、CLTが更に幅広く活用されれば、木材に対する新たな需要が喚起されることになる。
- ・ この関係省庁連絡会議において、各省から需要創出に向けたアイデアを出し、行動していくことで、需要のロットを確保し、コストを下げ、さらなる需要を喚起する好循環を生み出すことができるようにしたい。各省の積極的な対応をお願いする。

2. CLTをめぐる情勢について

沖林野庁次長より、CLTをめぐる情勢～地方創生と林業の成長産業化に向けて～、由木住宅局長より、CLTにかかる国土交通省の取組について説明。

3. 今後の検討の進め方について

沖林野庁次長より、「CLTで地方創生を実現する議員連盟」からの申入れについて説明を受け、次いで当連絡会議での検討事項並びに当面のスケジュールが提案され、了承された。また、今後、各省から取組状況について報告を受けることとなった。

4. 閉会

最後に、和泉総理補佐官より以下の発言があった。

- ・ (一社)日本CLT協会の発足当時は、まだ3社の加入であったが、今では約300社が加入している。
- ・ 議員連盟ができ、首長連合ができ、告示も出されたがまだまだな状況である。
- ・ 各省においては、具体のプロジェクトを発掘していただきたい。CLTの価格は、現在は高いが、好循環で価格も下がっていく。しばらくは応援する必要がある。

－以上－